

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	ふれあい館・桜本こども文化センター	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人青丘社 ・代表者名 理事長 斐 重度 ・住所 川崎市川崎区桜本1-8-22	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	川崎区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 ふれあい館・桜本こども文化センター ①年間延べ利用者数 47,387人 ②年間延べ利用団体数 866団体</p> <p>2 さくら小学校わくわくプラザ ①登録者数 196人 ②年間延べ利用者数 11,718人</p> <p>3 大島小学校わくわくプラザ ①登録者数 225人 ②年間延べ利用者数 17,794人</p> <p>4 東大島小学校わくわくプラザ ①登録者数 171人 ②年間延べ利用者数 12,253人</p>
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 135,069,647</p> <p>2 支出 人件費 119,296,068 管理費 9,866,437 事務経費 8,906,147 その他経費 合計 138,068,652</p> <p>3 差引 -2,999,005</p>
サービス向上の取組	外国につながる市民を含む、乳幼児から高齢者まで幅広い層が利用する施設の特色を生かし、「ふれあい館まつり」等、世代間・多文化交流を推進していた。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	5	10
	事業成果	こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか	5	2	2
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由)外国につながる市民を含む、乳幼児から高齢者まで幅広い層が利用する施設の特色を生かし、「エスニック屋台村」「民族写真館」を含む「ふれあい館まつり」等、世代間・多文化交流を推進していた。わくわくプラザ3施設で実施する「わくわくどきどきプログラム」の担当による「工作」「遊びの広場」「お話し会」「みんなでLa・らら(歌)」を毎月3施設で実施し、特色ある行事として「遊びの広場」ではブラジル、韓国、中国及び韓国の遊びにふれる「多文化な遊び」を実施していた。また、毎月ふれあい館を含めた4施設において、ゲーム大会等合同行事を実施し、事業推進を図っていた。ふれあい館・こども文化センターの利用者が第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度平均値)と比較して、10.9%減少した。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
<p>効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか</p> <p>(評価の理由)金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する待遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	5	10
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	3	3
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 多数の視察者に対し、視察の機会に施設の情報を積極的に発信し、また、各市民団体のネットワークに、ブログやメールマガジンによる活動紹介を含む当施設のホームページをリンクさせるなど広報の充実に努めた。小学校運動会での民族舞踏の指導や中学校文化祭での「フリビんと出会おうワークショップ」を行うなど連携を図っていた。また、地域や行政の様々な委員会や協議会等に数多く出席し、情報交換、情報発信等を行い、地域との連携を強化していた。					
組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	3	3
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由) 外国につながる市民との関わりが多いふれあい館の特性から「日系南米の渡日とこどもたちの課題」等、日々の活動に直結する研修を実施していた。個人情報等の取扱については、情報漏えい及び紛失等の事実はなかった。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のための体制(マニュアル整備等)がとられているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		・施設の防犯のための工夫がされているか			
災害への対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3	
	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか				
(評価の理由) 施設整備安全点検委員会を設置し、2か月に一度施設の安全点検を実施した。地震の経験のない外国人市民へのフォロー体制を含む、青丘社防災会議を実施していた。					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、施設の特徴を良く理解し管理運営に当たっていた。また、外国につながる市民を含む、乳幼児から高齢者まで幅広い層が利用する施設の特徴を生かし、「ふれあい館まつり」等、世代間・多文化交流を推進し、事業の充実に努めていた。また、わくわくプラザでは、「多文化な遊び」など、特色ある行事を行うとともに、ふれあい館を含めた4施設での交流を進めていたことは評価できる。

指定管理業務以外の事業でも、学校や行政との関わりが深く、また、様々な委員会、協議会等に数多く出席していることから、学校、行政及び地域等との連携については、他施設と比べても充実した内容となっている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、ふれあい館・こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。また、災害への確実な対応を図るため、防災対策のさらなる充実に努めていただきたい。

近隣からの騒音に対する苦情などについては、地域住民の理解が得られるようさらに努力し、事業の推進を図ること。